



内田町ハイキングコース (後編)

距離：約 3.5km、時間：1 時間 30 分

1月号に引き続き、内田町のハイキングコースを紹介します。後編では、西小沢市民ふれあいセンターをスタート地点として、内田町東部の下町エリアを中心に歩きます。旧西小沢村の歴史を読み取ることができる興農之碑や岡部辰雄氏の胸像、市の天然記念物に指定されている「内田の柵」、平成 26 年に完成した内田浄水場など、歴史や自然、産業に関する多くの見どころがあります。このコースは、平坦な道が続き、距離的にも非常に歩きやすく、軽めのハイキングに適しています。気軽に歩いてみてはいかがでしょうか。

1 忠魂塔



昭和 29 年に建てられた戦没者のための慰霊の塔。上部に「慰霊之碑」と書かれた石碑があったが、東日本大震災で崩れてしまった

2 興農之碑と岡部辰雄氏像



西小沢地区における治水と農業振興の歴史が刻まれた碑と西小沢村出身で昭和 29 年に常陸太田市として初の市長選挙で当選し、市長となった岡部辰雄氏の功績が刻まれた胸像が並んでいる

3 小原神社



笠間市の小原神社を分祀した。境内には、笠間稲荷神社（笠間市）と大宝八幡宮（下妻市）も祭られている



忠魂塔 1 2 興農之碑と岡部辰雄氏像

■ スタート・ゴール
西小沢市民ふれあいセンター

6 内田浄水場

■ 下内田農村集落センター

5 内田の柵

■ ライスセンター

至小目町

茂宮川

3 小原神社

4 愛宕神社

至小目町



6 内田浄水場



平成 26 年に完成した水道施設。久慈川から取水した水を浄水し、佐竹配水池まで送水している。災害時には給水拠点として利用される



案内してくれた地域の皆さん

5 内田の柵



樹齢約 250 年。ヒイラギの巨樹としては県内有数の規模で市の天然記念物に指定されている。所有者の屋敷内にある

4 愛宕神社



火防の神である笠間市の愛宕神社を分祀したもの。鳥居の近くには馬力神や二十三夜塔などの石碑が集められている。東日本大震災により、社殿が傾いてしまった